

CREDAS 廃止と平成 30 年度 COBRIS 無料サービスについて

(一財)日本建設情報総合センター
(JACIC: ジャシック)
北陸地方センター

CREDAS(建設リサイクルデータ統合システム)とは

- ・ ラージリサイクル法および建設リサイクル法により提出が義務づけられている書類(再生資源利用[促進]計画書(実施書)をはじめ、法 11 条・10 条・18 条の様式)の作成を PC 上で行うことによって、記入者の負担の軽減等を図るためのプログラムです。CREDAS は国土交通省が開発し、平成 14 年から国土交通省のリサイクルホームページ[※]にて無料で提供しています。(建設副産物情報交換システム(COBRIS)にも CREDAS 機能があるので、区別するためここではオフライン版 CREDAS と記載します)

※国交省リサイクルホームページ

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/fukusanbutsu/credas/>

オフライン版 CREDAS 廃止の経緯

- ・ H29 年 5 月 情報セキュリティ上の問題が発見されたため公開を停止
- ・ H29 年 10 月 上記の対策を施したプログラムの公開を再開[※]
- ・ H29 年 10 月 今後の情報セキュリティ対策が困難であるとして、H30 年 3 月 31 日をもってオフライン版 CREDAS を廃止することを発表[※]

※10/2 国交省本省から地方整備局等へ事務連絡、北陸地方建設副産物対策連絡協議会事務局(北陸地整)より協議会構成員(県・関係業団体等)へ通知。

オフライン版 CREDAS 廃止後の対応

- ・ オフライン版 CREDAS 廃止後その代替手段として、国交省リサイクルホームページにて、エクセル形式の再生資源利用(促進)計画書(実施書)(以後、帳票類)の様式が公開される予定です。
- ・ オフライン版 CREDAS の操作方法などの問合せ窓口は廃止となる予定です。
- ・ 国土交通省では各地方の建設副産物対策連絡協議会を通じて、受発注者の皆様に建設副産物情報交換システム(COBRIS)の利用の検討をお願いしています。

オフライン版 CREDAS の廃止後の使用について

- ・ 今後新たに情報セキュリティの脆弱性対策がされないため、オフライン版 CREDAS を使い続けることは、ウイルス感染やサイバー攻撃等のリスクを抱えることとなります。
- ・ 平成 30 年度は建設副産物利用実態調査(センサス)の実施が予定されています。センサスの実施時には帳票類の様式や記載内容の見直しが行われますが、オフライン版の CREDAS は新しい様式や入力内容の変更への対応がなされません。
- ・ 平成 30 年度センサス実施時にはオフライン版 CREDAS で作成したデータは使用できません。(センサス時には別途調査票等の作成・提出が必要となります)

エクセル様式の使用について

- ・ CREDAS 廃止後に国交省建設リサイクルホームページにてエクセル様式のファイルが無料で提供されます。
- ・ オフライン版 CREDAS や COBRIS と比較して入力や記載内容のチェックの手間が増大します。
- ・ エクセル様式で計画書・実施書を作成した工事については、平成 30 年度のセンサス時に別途調査票等の作成・提出が必要となる見込みです。

COBRIS(建設副産物情報交換システム)とは

- ・ JACIC では国土交通省の建設リサイクルの推進を支援するため、平成 14 年度より CREDAS の帳票作成時のエラーチェック機能を強化するとともに、オンラインでのデータの保存・やり取り、集計等の機能を持たせた「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」を提供しています。
- ・ センサス時には COBRIS に蓄積されたデータを抽出するため、あらためて調査票の作成・提出や回収が不要となります。

JACIC による平成 30 年度 COBRIS 無料サービスについて

- ・ このたびの CREDAS の廃止による利便性の低下を抑えること、ならびに平成 30 年度のセンサスの対応の効率化などを踏まえて、現在 COBRIS を利用していない「県市町村工事の受発注者の皆様」を対象に、平成 30 年度については無料で利用できるサービスを提供します。
 - 注 1: 現在 COBRIS に加入している受発注者の皆様は対象ではありません。
 - 注 2: 現在利用していない受注者の皆様のうち、県市町村以外の工事を受注した企業は対象ではありません。

平成 30 年度 COBRIS 無料サービスのお問合せ・お申込み先

一般財団法人 日本建設情報総合センター(JACIC:ジャシック)

建設副産物情報センター

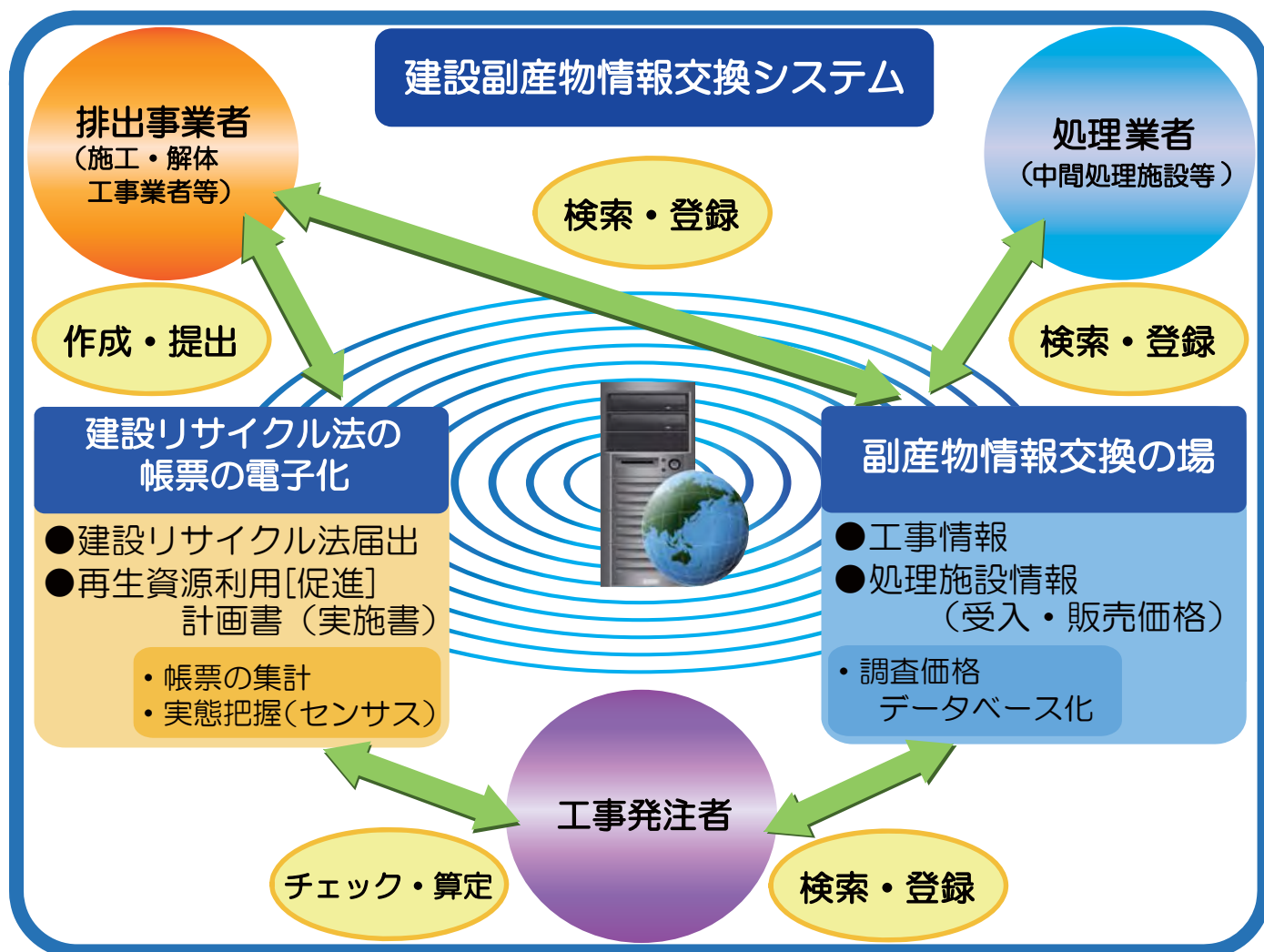
電話 03-3505-0410

メール recycle@jacic.o.rjp

URL <http://www.recycle.jacic.or.jp/>

建設副産物情報交換システム (COBRIS)

建設リサイクルを推進します



■ 建設副産物情報交換システムの特長

- 建設副産物の処分先、再生資材の購入先を検索
- 建設リサイクル法に基づく帳票の作成、データのチェック、帳票の保存
- 資材利用量、建設副産物搬出量を品目別に総量算出
- 建設副産物実態調査 (センサス) に対応

システムの年度間利用料金

利用料金	ユーザ名	契約単位	利用料金 / 円 税込 (税抜)
オンライン方式	国・独立行政法人等	本局部・事務所単位	162,000 (150,000)
	都道府県・政令市		32,400 (30,000)
	市町村・特別区	市町村・特別区単位	8,640 (8,000)
	排出事業者	工事を監理できる 支店・事務所単位	8,640 (8,000)
	処理業者	—	無料
代行方式	排出事業者	工事を監理できる 支店・事務所単位	16,200 (15,000) 検索費用 1,080 (1,000)
	処理業者	—	無料

※ 代行方式ではオンライン方式と異なり一部機能がご利用できません。

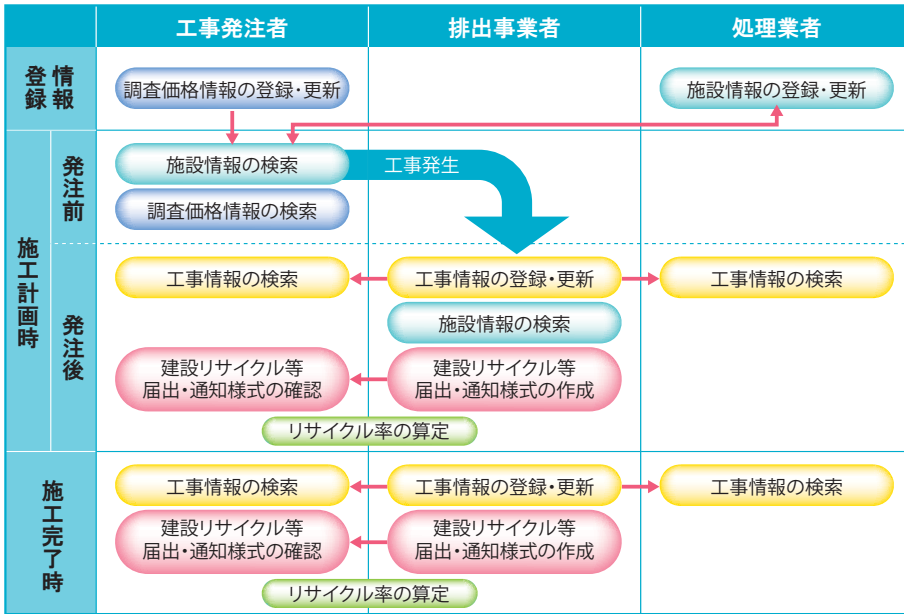
※ 都道府県・政令市・市町村・特別区は、最大で6ヶ月間の無料お試し実施中。

※ 消費税改正による平成26年4月からの料金表です。

問い合わせ先

一般財団法人 日本建設情報総合センター (JACIC)
建設副産物情報センター
http://www.recycle.jacic.or.jp
〒107-8416 東京都港区赤坂7丁目10番20号
アカサカセブンスアヴェニュービル2F
TEL: 03-3505-0410 FAX: 03-3505-0520
E-mail: recycle@jacic.or.jp
【お問い合わせ受付時間】
AM9:30~PM5:30 (土日、祝祭日を除く)

システム情報フロー



システムの適用範囲

システムの対象建設副産物、対象地域の適用範囲は次の通りです。

区分	適用範囲
対象建設副産物	コンクリート塊 アスファルト・コンクリート塊 建設発生木材 建設汚泥 建設混合廃棄物
対象地域	全国

システムの利用対象者と活用によるメリット

システムの利用対象者は、①工事発注者（公共事業発注機関省庁、独立行政法人等、都道府県、市区町村）、②排出事業者（建設工事の施工者等）、③処理業者（再資源化施設等）です。なお、システムが活用されることにより、各利用者には下記に示すメリットが期待されます。

利用対象者	システム活用によるメリット
工事発注者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建設副産物の搬出先及び再生資材の購入先の検索が可能。 ▶ 工事現場から再資源化施設までの最短経路、距離及び運搬時間の検索が可能。 ▶ 適切な設計・積算の策定に寄与。 ▶ リサイクル率の算定（集計機能）。
排出事業者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 建設副産物の搬出先及び再生資材の購入先の検索が可能。 ▶ 工事現場から再資源化施設までの最短経路、距離及び運搬時間の検索が可能。 ▶ 適切な施工計画の作成及び立案支援。 ▶ 建設リサイクル法の各種様式作成の省力化。 ▶ リサイクル率の算定（集計機能）。
処理業者	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公共工事の建設副産物受入機会の拡大。 ▶ 自社施設の周辺工事の検索が可能。 ▶ P R欄の利用による、自社のP R活動。 ▶ リアルタイムな施設登録情報提供による業界の市場活性化。

建設リサイクル法等の提出書類の作成機能

資源有効利用促進法
(第10条・第18条)
工事毎の作成

建設リサイクル法
(第10条・第11条・第18条)
工事毎の作成

建設副産物実態調査
工事毎の作成

建設副産物情報交換システムによる
提出書類の作成の省力化

工事概要 画面



建設副産物情報交換システム<COBRIS> 無料利用サービスのご案内

CREIDAS入力システムの機能を備えたシステムです！

内 容

本システムの機能全ての利用が無料

無料

期 間

平成30年度<4月1日~3月31日>

対象者

都道府県・市区町村工事の発注者、受注者
※平成29年度の本システム未加入者に限る

**システムの
特 長**

- ★CREIDASと同様の操作性
- ★帳票の保存によりセンサスの回収手間が不要
- ★処理施設情報・調査価格情報を積算ツールとして利用することで設計者の実務軽減



主な機能

- 帳票の作成・チェック・保存・集計
- 処理施設情報の検索
運搬距離・受入価格・再生資材販売価格
- 調査価格を自機関内・他機関と共有

※帳票: 再生資源利用 [促進] 計画書 (実施書)

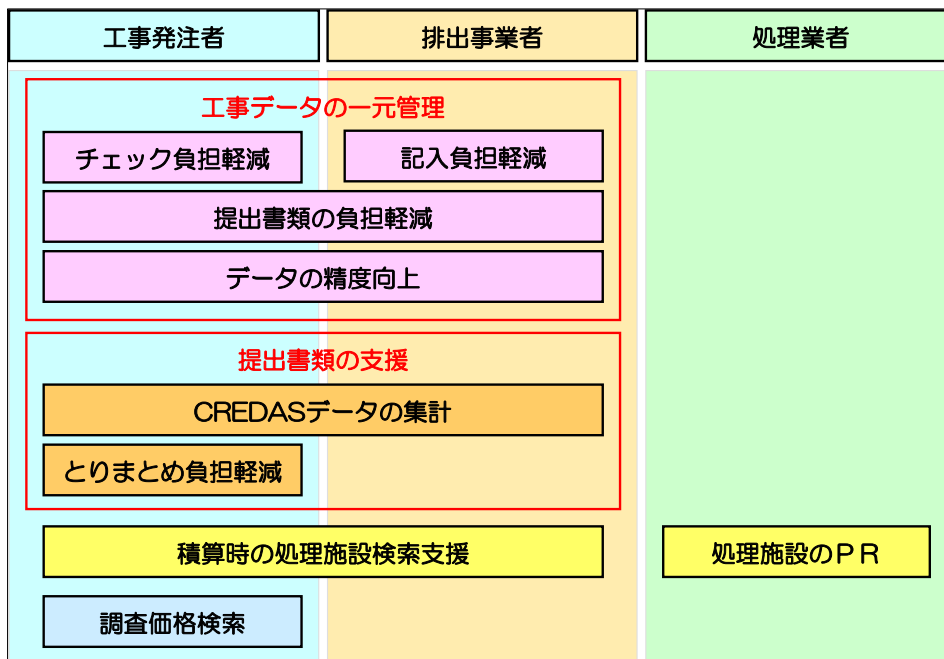
COBRIS のメリット

CREDAS から COBRIS へ

COBRIS: C onstruction B yproducts R esource I nformation interchange S ystem = 建設副産物情報交換システム

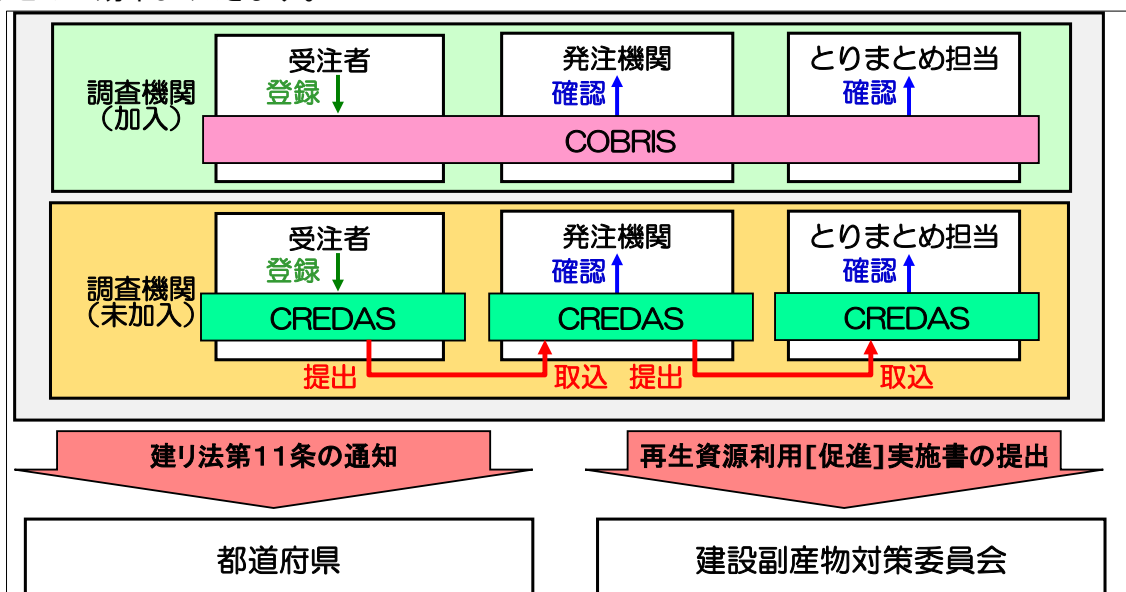
【書類作成のメリット】

建設リサイクル法 11 条関連の届出書や通知書、法 11・18 条関連の再生資源利用[促進]計画書・実施書の作成・確認・とりまとめが効率良くできます。



【書類提出・確認のメリット】

受発注者やとりまとめ担当で工事データを共有できるため、書類の提出や確認、建設副産物実態調査(センサス)のとりまとめが効率よくできます。



COBRIS の平成 30 年度無料利用サービスのお申込み・お問合せはお電話で！



一般財団法人日本建設情報総合センター(ジャシック) 建設副産物情報センター

電話 03-3505-0410(平日午前 9:30~午後 5:30)

http://www.recycle.jacic.or.jp/ メール recycle@jacic.or.jp